

第 34 回 機青連定期総会

4 月 11 日 於 京都ブライtonホテル

4 月 11 日土曜日に、第34回機青連定期総会ならびに懇親会が開催されました。ご来賓 21 名、会員 42 名のご参加をいただきました。総会では議案がすべて承認され、新役員の改選において新幹事より第34期代表幹事に有田一繁氏(株式会社有田製作所)が再選されました。



京都機械金属中小企業青年連絡会 第34回定期総会 2015年4月11日 於 京都ブライtonホテル

(集合写真)

<代表幹事よりお礼>

34 回機青連定期総会ならびに懇親会にご臨席賜りましたご来賓の皆様方、会員の皆様方、お忙しい中、長時間にわたり誠にありがとうございました。

皆様のご協力により滞りなく無事に総会を終えることができ、第 34 期を迎えることができましたこと、重ねて御礼申し上げます。

その総会におきまして前期に引き続き 34 期代表幹事を務めさせていただくことになりました。

「頼まれごととは試されごと」代表幹事の名に恥じないよう、しっかりと務めて行きたいと思ひます。

今期は「繁(しげる)」～「あるべき姿」に近づくために～という年間テーマのもと事業を進めてまいります。

「繁」にはどんどん増えて広がる。にぎやかなさまという意味があり

テーマには、機青連や会員が成長した様子を表し、経営者であればだれもが願う自社の繁栄の意味も込めています。

33 期は今一度じっくり落ち着いて自分自身、自社の立ち位置を見て、考え、実践する事業を行いました。

34 期は自身の成長、自社の繁栄のためにあるべき将来像を明確化し、目標を決め、そのために行動していくきっかけとなる事業を作っていきたいと思ひます。



- ・経営者としてあるべき姿とは何なのか
- ・自社を繁栄しつづけるには、企業としてあるべき姿は何なのか

目の前の仕事はもちろん大事ですが、遠い未来のことを考えることも必要です。

次の世代を担う私たちが自社の繁栄のために、理念やビジョンを考える必要があると思います。
同時に京都の、ひいては日本の中小製造業の将来像を考えていければと思います。

総会ではご来賓の方から

「いつもアツイ機青連を期待している」

「ヤッターワンの今期中の完成を望む」

「経営者自ら汗をかいて行動してほしい」

「新たな分野への挑戦を」

「他地域で新たな取り組みをされているところに実際に見に行くことが重要」

など、さまざまなお言葉を頂戴しました。

今期 21 名の幹事が一致団結し、機青連に関わる皆様により多くの「学び」、「気づき」、そして「機会」の場をつくっていきますので、積極的な事業のご参加、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<新役員紹介>

代表幹事	有田 一繁	(株)有田製作所
副代表幹事	土肥 秀則	土肥板金工業(株)
副代表幹事	中本 幸志	(株)ナカモト
会計	佐藤 拓哉	(株)万城製作所
主務	植田 晃史	(有)植田製作所
研修委員会 委員長	佐々木 志朗	(株)佐々木工作所
会社訪問委員会 委員長	山下 正起	協和精工(株)
交流企画委員会 委員長	福井 悠記	洛陽化成(株)
ものづくり委員会 委員長	義永 信一郎	(株)神村製作所
切削部会 部会長	山本 秀幸	HILLTOP(株)
板金部会 部会長	橋本 展幸	橋本鉄工(株)
幹事	小川 保弘	(株)オージーファイン
	河本 晋平	カワケイ
	小嶋 洋一	(株)小嶋 PCK
	鈴木 祐介	(株)最上インクス
	田中 隼人	(有)田中製作所
	高畑 國正	(株)高畑工作所
	立入 一晃	(株)長濱製作所
	松浦 昌義	(株)マツウラ
	安田 一真	(株)ヤスダモデル
	山田 昌司	(有)山田工業
監査幹事	寺田 理	(株)キョークロ
監査幹事	名高 新悟	(株)名高精工所

—順不同 敬称略—